

# 建築研究所ニュース



平成 30 年 9 月 7 日

開発途上国 10 カ国 21 名の研究者や技術者を対象として実施した  
1 年間の地震工学通年研修が終了します。

国立研究開発法人建築研究所では、毎年、国際地震工学研修として 3 つの研修を実施しています。

3 つの研修のうち、開発途上国の若い研究者や技術者を対象とした、地震学、地震工学、津波防災の各分野に関する「地震工学通年研修」は、(独)国際協力機構及び政策研究大学院大学との連携により、修士号の取得が可能な研修になっています。

平成 29 年 10 月 3 日から開始した本研修では、地震学、地震工学、津波防災の 3 つのコースに分かれ、それぞれの専門性を考慮した講義や実習(平成 28 年熊本地震の被災現場の見学等)を行いました。

この研修に選ばれて参加した 10 カ国 21 名の研修生が閉講式に出席します。

<参考①：第58回国際地震工学研修閉講式の日程等>

日時：平成30年9月13日(水) 11:00～

場所：国立研究開発法人建築研究所2階講堂(つくば市立原1)

研修修了生の出身国と人数(単位：人)：

インド(1)、エジプト(3)、エルサルバドル(4)、チリ(1)、  
ニカラグア(2)、ネパール(2)、バングラディッシュ(3)、  
フィリピン(2)、ペルー(2)、モロッコ(1)

<参考②：これまでの研修修了生数(本研修修了生含む)>

- ・地震工学通年研修：81カ国から延べ1,184名(修士号取得者数は281名)
- ・国際地震工学研修：101カ国から延べ1,864名(地震工学通年研修含む)

## (内容の問合せ先)

国立研究開発法人建築研究所  
所属 国際地震工学センター  
管理室長  
氏名 飯竹理広  
電話 029-879-0678(直通)  
E-mail iitake@kenken.go.jp